

お粗末な 団体交渉！！

8月23日 成田会議室に於いて、第22期が発足して初めての団体交渉が14時より行われました。会社からは田中人事部長、中島人事シニア、境顧問が出席し、組合からは成田の全中執が出席しました。今回の団体交渉は会社からの要請でその趣旨は会社の現状を組合役員に伝えたいとのことでした。

会議の冒頭、田中人事部長がプロジェクターのスイッチを入れ、「TOTAL COMPENSATION & BENEFITS REVIEW」と題された画面を映し出し、説明しようとした。もちろん、組合は説明を聞きたいのですが、過去の経験からこの「TCBR」は約5～7ページ（2008年は11スライド）で構成されており、とても覚えきれぬものではなく、また、筆記するのも膨大な時間と作業の無駄になることから、会社には印刷して配布してから、説明をするように以前から強く要請していました。（たぶん、毎回、団体交渉に出席している中島氏は耳にタコができていられると思われる。）田中人事部長に印刷して配布するように要請した所、確認したいと席を立ち上司に携帯で連絡を取っていたものと思われる。しかし、5分経っても10分経っても、一向に戻ってくる気配はなく、その間、会議室で中島氏に確認したところ、会社は役員用に印刷して、椅子の上に用意してあるとして、印刷されたものを提示する。約15分が経過したとき、今度は中島氏も呼び出され、またまた、二人共戻ってくる気配はなく、遂に会議が中断して30分が経過したので中執は席を立って退席しました。

過去、開始時間が遅れることは、交通事情や仕事の関係で何回かありました。もちろん双方が了解していることです。今回は事前に会社内部で調整するもので、開始されてから再度検討するものではなく、また、確認するにしても、せいぜい5分程度で結論を出すものです。そして、印刷物（当然、配布すると思われる）を用意しているのになぜ速やかに配布出来ないのか？と色々な抗議の意味での退席となりました。

野球の試合に例えるなら、プレーボールが宣言されて、第1球を投げる前に、ピッチャーとキャッチャー延々とサインの交換を30分しているようなものです。

会社の一方向的な改悪を許さないためにも

現在、組合に加盟していない人々も組合に参加して

共に力を合わせて闘いましょう！

随時 組合員の加入を行っております。

HP アドレスは <http://www.fdxunion.com>

メールアドレスは fdxunion@fdxunion.com